

議会改革検証委員会協議事項

令和4年10月24日（月）
午後3時30分
議会運営委員会室

- 1 提案のあった改善方策に対する会派意見について
- 2 追加検討項目に対する会派意見について
- 3 その他

各会派から提案のあった改善方策の取扱

	検証項目	改善方策(提案会派)	取扱
1 議会運営のICT化	(1) ペーパーレス化の検討について	①セキュリティを確保した上で、①オンライン会議等に対応できる端末に変更、②議員の私用端末の活用、など利便性の向上を目指してはどうか。(自民)	継続検討
		②プリンターの選択を可能とする。(公明)	合意
		③セキュリティ対策をして、庁外でもデータ入手できるようにする。(共産)	合意
		④タブレット機能の強化を図るべき。(維新)	合意
	(2) オンラインによる委員会開催について	①・大規模改修時などのタイミングでオンライン開催設備を備えた委員会室とする。 ・議員や当局への貸与の端末と合わせて環境整備を急ぐ。(自民)	継続検討
		②研修を定期的に行う。(共産)	合意
2 議会における危機管理対応	(1) 震災25年を踏まえた危機管理に関する検討について	①初動体制確立のための手順を検討する。(自民)	合意
3 開かれた県議会	(1) 陳情の取扱について	①陳情者の意見陳述などを検討。(共産)	協議終了
	(2) 常任委員会の2日開催について	①全委員会の録画を行い即日配信することを検討してはどうか。(自民)	継続検討 (※次回から1 (2) ①とまとめて協議)
		②傍聴やライブ中継より、時間制約のない録画配信を充実させる。(公明)	合意
	(3) 常任委員会記録のあり方について	③全ての委員会をネット中継にするための環境整備。(共産)	継続検討 (※次回から1 (2) ①とまとめて協議)
4 議会広報の充実	(3) 常任委員会及び議会運営委員会資料の議会HP掲載について	①より議事内容等が伝わるよう名称等掲載方法を検討。(県民)	合意
		②少なくとも、任期の4年分は掲載すること。(共産)	継続検討
		③HPに載せる必要はない。(維新)	協議終了

継続協議項目の取扱

項目	党派	前回意見(8/19)	今回意見(9/26)	取扱
1 議会BCPについて	自民	中長期的な課題についてはさておき、初動体制を確立するための検討は必要ではないか。まずは情報連絡手段と応召手段の確保のための具体的な手続き、手順を決定しておく必要があるのではないか。	初動態勢確立に向けた検討は必要と考えるが、今年度の検討は見送るとしても、新議会での検討を速やかに行えるよう各党派間で合意を得ておくべきではないか。	新議会へ申し送り ※「初動体制確立のための手順の検討」は今年度実施
	自兵庫	昨年度の結論のとおり、引き続きコロナ禍にあり、コロナウイルスが一定収束した後、改めてBCPの必要性を含めた協議を行う。	前回意見と変わらず、BCPの議論は、コロナウイルスが一定収束した後の協議が適切と考える。 ただし、自民提案の「初動体制の確立（情報連絡手段と応召手段の確保のための具体的な手続き、手順）についての検討は、差し支えない。	
	県民	阪神・淡路大震災を経験している兵庫県議会だからこそ、経験を生かしての議会BCPを作成でき、率先して作成する責任があると考え。しかし、新型コロナウイルス感染症が第7波に入りこれまで以上に感染が拡大していることから、医療提供体制の確保や社会経済活動の維持等、現状の課題への対応を優先し、今年度の実施は見送るべきと考える。	兵庫県議会として、震災の経験を生かし率先して作成する責任があると考え、引き続きコロナ禍にあることから、昨年度の結論どおり、コロナウイルスが一定収束した後、この度のコロナ禍での議会対応も検証した上で、具体的な行動計画として議会BCPを作成すべきと考える。	
	公明	これまでコロナ感染拡大により実施を見送ってきたが、死亡率や重症化率の低下など状況が変化しており、今年度は実施すべき。	今年度は実施すべき。	
	共産	新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見られないもとで、今年度の実施は見送るべき。	新型コロナウイルス感染拡大が収まらない状況の下で、その対応を第一に検討すべきであり、あらためてコロナ収束が見通せないなかでは、今年度の実施は見送るべき。	
	維新	今年度実施すべき。世間では、災害やシステム障害などが起きているうえに新型コロナウイルスのパンデミックやテロ事件なども起こっており、BCPは欠かせないと考える。	今年度実施すべき。	

議会改革追加検討項目の取扱

	項目名	内容(提案会派)	取扱
1	常任委員会の映像の保管、活用について	大会議室、中会議室で開催される常任委員会ではインターネット中継など映像が保管されるが、他の委員会室では議事録のみの記録となっている。他の委員会室でもインターネット中継も含め映像を記録するとともに、その映像・音声を議員が活用できるようにできないか。なお、カメラ操作は人手がいることから固定カメラのみとし、議員が映像を必要に応じて編集することとする。 (自民)	継続検討
2	常任委員会の地域開催の見直しについて	平成29年度から始まった常任委員会の地域開催は、県議会の役割や機能の理解促進に大きな役割を果たしてきた。また県議会や議員の活動への信頼性回復にも資する取組でもあった。しかしコロナ禍による開催中止や将来的な職員数の減少などの新たな課題も懸念されている。この間、DXの進展により、県内どこからでも視聴可能であるネット中継、録画配信の拡充が検討可能な状況になってきており、課題への対応として、これまで一定の役割を果たしてきた地域開催から録画配信等に切り替えて、県議会の見える化の一層の推進を図ってはどうか。 (自民)	継続検討
3	常任委員会での「その他」における効果的、効果的な質疑について	委員会では毎月閉会中の継続調査事件が設定され、関係部課に説明いただいているが、「その他」で当日出席していない部課について質疑が行われることがある。議会も当局も限られた時間の中で委員会活動を実施しているから、緊急性がなければ担当課が出席する会に質問を行うことや、緊急性があり質問しなければならない場合は事前に申し入れるなど、委員会が効果的に運営されるよう何らかの取り決めを検討すべきではないか。(自民)	継続検討
4	請願者の請願趣旨を、より議会に反映させるための手立てについて	請願を審議する常任委員会や本会議での、請願者の意見陳述などを検討すること。(共産)	継続検討

各会派から提案のあった改善方策に対する会派意見

	改善方策(提案会派)		自民党	自民兵庫
1 議会運営のICT化	(1) セキュリティを確保した上での端末の利便性の向上	①オンライン会議等に対応できる端末に変更、②議員の私用端末の活用(自民)		①、②共に利便性の向上という観点からは異論はないが、セキュリティの確保、また使用の範囲(たとえば、どのような会議であればオンライン会議に使用して構わないか)については、十分な検討が必要である。
	(2) 委員会室におけるオンライン環境整備	・大規模改修時などのタイミングでオンライン開催設備を備えた委員会室とする。 ・議員や当局への貸与の端末と合わせて環境整備を急ぐ。(自民)		賛同する。音響やカメラ設備、通信環境等も含め円滑にオンライン開催できる環境を整えるべき。
		全ての委員会をネット中継にするための環境整備。(共産)	賛同するが、ネット中継設備の増設費用やカメラ操作の手間等、十分な検討も必要と考える。	上記の自民提案と同じ。「1(2)オンライン開催設備を備えた委員会室」の整備と併せて検討)
		全委員会の録画を行い配信すべき(中継は従来通り)。(自民)		上記(3)の自民提案と同じ。「1(2)オンライン開催設備を備えた委員会室」の整備と併せて検討)
	(3) 全委員会の録画の即日配信	全委員会の録画を行い即日配信することを検討してはどうか。(自民)		賛同する。上記「1(2)オンライン開催設備を備えた委員会室」の整備と併せて検討してはどうか。
2 常任委員会及び議会運営委員会資料の議会HP掲載	少なくとも、任期の4年分は掲載すること。(共産)		反対ではないが、公文書管理規程との整合やコストも勘案のうえ検討すべきである。	現在の運用(開催年度と前年度の2年分)で支障はないと考える。

各会派から提案のあった改善方策に対する会派意見

	改善方策(提案会派)		ひょうご県民連合	公明党・県民会議
1 議会運営のICT化	(1) セキュリティを確保した上での端末の利便性の向上	①オンライン会議等に対応できる端末に変更、②議員の私用端末の活用(自民)	賛同する。 ただし、コスト面も踏まえた上での検討が必要。	セキュリティを確保、オンライン会議の運用ルール化されれば、ICT化による利便性向上には賛成。
	(2) 委員会室におけるオンライン環境整備	・大規模改修時などのタイミングでオンライン開催設備を備えた委員会室とする。 ・議員や当局への貸与の端末と合わせて環境整備を急ぐ。(自民)	賛同する。 ただし、コスト面を厳密に精査の上、検討が必要。	大規模改修時などのタイミングでオンライン開催設備を備えた委員会室の整備には賛成。一方、オンライン会議の運用ルールについては、別途協議の必要がある。
		全ての委員会をネット中継にするための環境整備。(共産)	賛同できない。 時間制約のない録画配信の充実に努めるべき。	大規模改修時などのタイミングでオンライン開催設備と合わせて整備すべきと考える。
		全委員会の録画を行い配信すべき(中継は従来通り)。(自民)	賛同する。 基本的に賛成であるが、全委員会での録画配信であることから、コストやマンパワーが出来る限りかからない方法を検討すべき	録画配信の充実に賛成。 大規模改修時などのタイミングでオンライン開催設備と合わせて整備すべきと考える。
	(3) 全委員会の録画の即日配信	全委員会の録画を行い即日配信することを検討してはどうか。(自民)	賛同する。 基本的に賛成であるが、全委員会での録画配信であることから、コストやマンパワーが出来る限りかからない方法を検討すべき。	録画配信の充実に賛成。 ただし、編集作業の負担もあるため、配信は適宜可能なタイミングでよいと考える。
2 常任委員会及び議会運営委員会資料の議会HP掲載	少なくとも、任期の4年分は掲載すること。(共産)	賛同する。	掲載を始めたばかりであり、当面は現状の運用で良い。	

各会派から提案のあった改善方策に対する会派意見

	改善方策(提案会派)		共産党	維新の会
1 議会運営のICT化	(1) セキュリティを確保した上での端末の利便性の向上	①オンライン会議等に対応できる端末に変更、②議員の私用端末の活用(自民)	①については検討課題にしたらいと思うが、②については、私用と公務の境界があいまいになるので、見合すべきではないか。	提案に賛同する。
	(2) 委員会室におけるオンライン環境整備	・大規模改修時などのタイミングでオンライン開催設備を備えた委員会室とする。 ・議員や当局への貸与の端末と合わせて環境整備を急ぐ。(自民)	セキュリティ対策をおこない、検討する。	提案に賛同する。
		全ての委員会をネット中継にするための環境整備。(共産)	/	環境整備については、いずれ実施される県庁舎の大規模改修などの機会に検討すべきと考えるため、意見には賛同しない。まずは全委員会の録画配信を検討してはどうか。
		全委員会の録画を行い配信すべき(中継は従来通り)。(自民)	検討課題。	県民の閲覧機会や、議員の他委員会の傍聴機会の増にもつながるため、提案に賛同するが、委員会記録の逐語記録については現状どおりでよいと考える。
	(3) 全委員会の録画の即日配信	全委員会の録画を行い即日配信することを検討してはどうか。(自民)	すべての委員会のネット中継が難しいというのであれば、代替措置として記述の提案を検討する。	県民の閲覧機会や、議員の他委員会の傍聴機会の増にもつながるため、提案に賛同する。
2 常任委員会及び議会運営委員会資料の議会HP掲載	少なくとも、任期の4年分は掲載すること。(共産)		/	4年分となるとボリュームが多すぎるため、提案には賛同できない。

「会派提案の改善方策」継続検討項目に係る現状と課題について

1 議会運営のICT化

(1) セキュリティを確保した上での端末の利便性の向上

改善方策（提案会派）	現状	課題
オンライン会議等に対応できる端末に変更（自民）＜1-(1)-①＞	対応可能（ただし、Wi-Fi環境が必要）	タブレット端末をLTE型に変更すればWi-Fi環境がない場合も対応可能となるが、別途通信費用が必要となる。
議員の私用端末の活用（自民）＜1-(1)-①＞	活用できない	現状では議会LANを含む県庁WANへの接続は、セキュリティ上認められていない。

(2) 委員会室（大・中会議室、1～7委員会室、議運室）におけるオンライン環境整備

改善方策（提案会派）	現状	課題
大規模改修時などのタイミングでオンライン開催設備を備えた委員会室とする。（自民）＜1-(2)-①＞	<ul style="list-style-type: none"> ・大・中会議室は対応済み ・その他の会議室は音響設備は対応済み（映像設備（カメラ等）は未対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大・中以外の会議室への映像設備（カメラ等）の設置が必要となる。大・中会議室並みの映像設備を設置する場合は大きな改修工事が必要となる（簡易な固定式・Webカメラ設置の場合は、それよりも費用は安く済む） ・動画の圧縮・変換等を行う機器の追加、回線の追加、サーバの拡充等が必要となる。
全委員会をネット中継にするための環境整備。（共産）＜3-(2)-③＞		
全委員会の録画を行い配信すべき（中継は従来通り）。（自民）＜3-(3)-①＞		
※オンライン開催設備が整えば、録画配信・ネット中継のいずれも可能		

(3) 全委員会の録画の即日配信

改善方策（提案会派）	現状	課題
全委員会の録画を行い即日配信することを検討する。（自民）＜3-(2)-①＞	委員会終了後から1委員会につき約2時間の編集（録画配信用ファイル転送、編集作業等）を要するため3日以内の配信。	動画配信までに一定の作業時間を要することから、配信する委員会数の増加及び即日配信を行う場合は、担当の時間外作業を前提とすることとなる。

2 常任委員会及び議会運営委員会資料の議会HP掲載

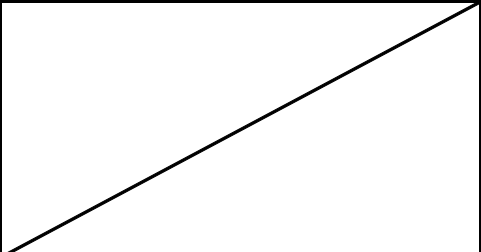
改善方策（提案会派）	現状	課題
少なくとも、任期の4年分は掲載すること。（共産）＜4-(3)-②＞	<ul style="list-style-type: none"> ・2年分を掲載 ・県のサーバーを使用 	サーバーへの負荷が2倍となり、容量拡張に伴う経費負担が必要となる場合がある。 なお、資料の保存期間は公文書管理規程上30年のため、任期4年分を掲載しても問題はない。

議会改革追加検討項目に対する 会派意見

	項目名	内容(提案会派)
1	<p>常任委員会の映像の保管、活用について</p>	<p>大会議室、中会議室で開催される常任委員会ではインターネット中継など映像が保管されるが、他の委員会室では議事録のみの記録となっている。他の委員会室でもインターネット中継も含め映像を記録するとともに、その映像・音声を議員が活用できるようにできないか。 なお、カメラ操作は人手がいることから固定カメラのみとし、議員が映像を必要に応じて編集することとする。(自民)</p>
2	<p>常任委員会の地域開催の見直しについて</p>	<p>平成29年度から始まった常任委員会の地域開催は、県議会の役割や機能の理解促進に大きな役割を果たしてきた。また県議会や議員の活動への信頼性回復にも資する取組でもあった。しかしコロナ禍による開催中止や将来的な職員数の減少などの新たな課題も懸念されている。この間、DXの進展により、県内どこからでも視聴可能であるネット中継、録画配信の拡充が検討可能な状況になってきており、課題への対応として、これまで一定の役割を果たしてきた地域開催から録画配信等に切り替えて、県議会の見える化の一層の推進を図ってはどうか。(自民)</p>
3	<p>常任委員会での「その他」における効果的、効率的な質疑について</p>	<p>委員会では毎月閉会中の継続調査事件が設定され、関係部課に説明いただいているが、「その他」で当日出席していない部課について質疑が行われることがある。 議会も当局も限られた時間の中で委員会活動を実施しているのであるから、緊急性がなければ担当課が出席する会に質問を行うことや、緊急性があり質問しなければならない場合は事前に申し入れるなど、委員会が効果的効率的に運営されるよう何らかの取り決めを検討すべきではないか。(自民)</p>
4	<p>請願者の請願趣旨を、より議会に反映させるための手立てについて</p>	<p>請願を審議する常任委員会や本会議での、請願者の意見陳述などを検討すること。(共産)</p>

	項目名	自民党	自民兵庫
1	<p>常任委員会の映像の保管、活用について</p>		<p>賛同する。改善方策「1（2）オンライン開催設備を備えた委員会室」の整備と併せて検討してはどうか。</p>
2	<p>常任委員会の地域開催の見直しについて</p>		<p>賛同する。上記1と同様に、改善方策「1（2）オンライン開催設備を備えた委員会室」の整備と併せて検討してはどうか。</p>
3	<p>常任委員会での「その他」における効果的、効率的な質疑について</p>		<p>賛同する。</p>
4	<p>請願者の請願趣旨を、より議会に反映させるための手立てについて</p>	<p>賛同できない。 請願の趣旨は書面に記載されており、効率的な議会運営の観点からも意見陳述は不要と考える。</p>	<p>請願書に趣旨が詳細に記載されていることから、意見陳述の必要性はないと考える。</p>

	項目名	ひょうご県民連合	公明党・県民会議
1	常任委員会の映像の保管、活用について	映像の記録、録画配信には賛同する。 すべての常任委員会がネット中継されるのは望ましい姿ではあるが、ネット環境の整備には財政的な負担も大きく現時点では難しいと考える。	大会議室、中会議室以外の委員会室でもネット中継や映像の記録ができることは望ましいが、大規模改修時などのタイミングで整備すべきと考える。
2	常任委員会の地域開催の見直しについて	賛同できない。 地域開催は、普段県議会まで足を運ぶことの難しい人にも直接傍聴頂ける場であり、県議会の存在や役割を周知できる重要な機会と考える。廃止ではなく、回数を含め当局等の負担を出来るだけ軽減する形での開催方法を検討出来ないか。また、若い世代にも県議会に興味を持ってもらえるよう、例えば教育委員会等との連携により学生に声をかけるような取組も検討出来ないか。	管内調査時に行ってきた地域開催は、新聞記事に取り上げられるなど反響があり、参加者アンケートでも高評価を得ている。開催地域、テーマもまだ少なく、当面は継続すべきと考える。
3	常任委員会での「その他」における効果的、効率的な質疑について	賛同する	効果的・効率的な委員会活動や職員の働き方改革の観点から、当日出席していない部課についての質疑に関するルール化には賛成。
4	請願者の請願趣旨を、より議会に反映させるための手立てについて	賛同できない。 過去2回（令和元年度、令和2年度）議会改革の検討の場で協議しており、状況の変化等がない中では前回同様見直しの必要はないと考える。	過去に各会派で陳述者の意見陳述は認めない旨を確認しているため、これまで同様の取り扱いとすべき。

	項目名	共産党	維新の会
1	<p>常任委員会の映像の保管、活用について</p>	<p>すべての委員会のインターネット中継をおこない保存すること。当面中継できない委員会室は、録画配信し、記録を残して活用できるようにする。映像はそれぞれの議員の責任において編集できるようにする。</p>	<p>提案に賛同する。</p>
2	<p>常任委員会の地域開催の見直しについて</p>	<p>それぞれの地域との双方向の取組は必要。 常任委員会のさらなる見える化の推進は必要。</p>	<p>提案に賛同する。</p>
3	<p>常任委員会での「その他」における効果的、効率的な質疑について</p>	<p>「その他」の質疑は、緊急性があるものなので、そうした課題に適切に対応できるような仕組みを検討すべきと考える。</p>	<p>提案に賛同する。</p>
4	<p>請願者の請願趣旨を、より議会に反映させるための手立てについて</p>		<p>以前に検討済みであり、状況は変化しておらず合意を得ることは難しいと考えるため、議論の対象外とすべき。</p>